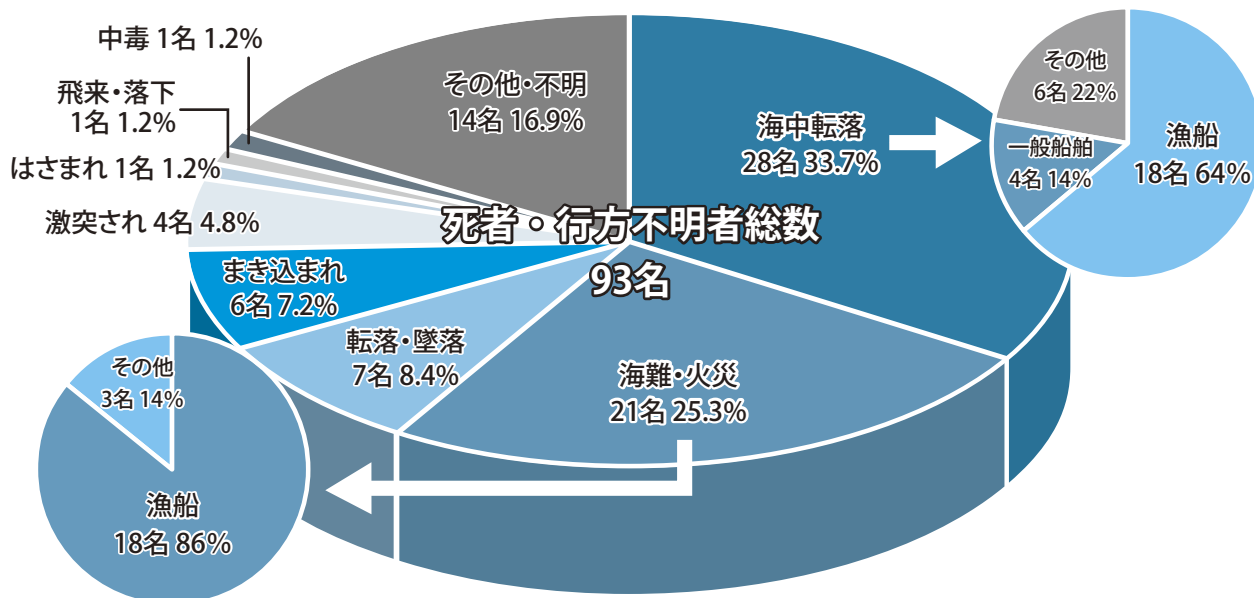


船員の死亡・行方不明災害防止は海中転落予防から

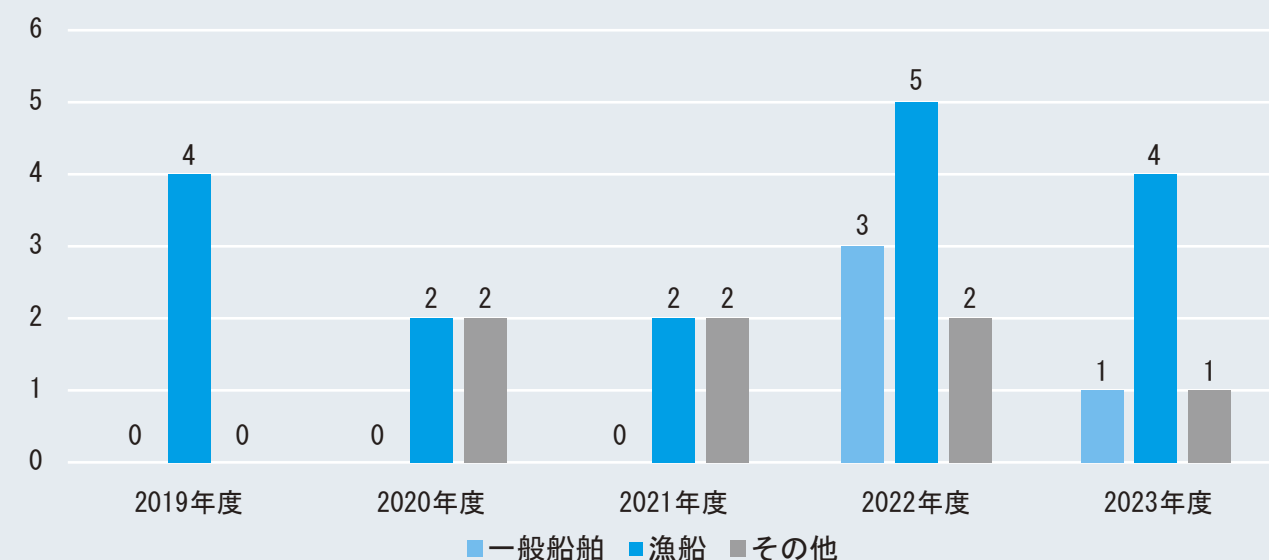
死亡・行方不明 災害発生状況 5年累計(2019～2023年度)



上の円グラフは5年間の死亡・行方不明災害を円グラフで示したものです。海中転落による死亡・行方不明者数は28名で全体の33.7%におよびます。

甲板上で舷外作業や漁ろう作業などを行う際は、「墜落制止用器具または作業用救命衣の着用」、「荒天時の操業は控える」、「単独作業を行わない」、などの安全対策を講じましょう。

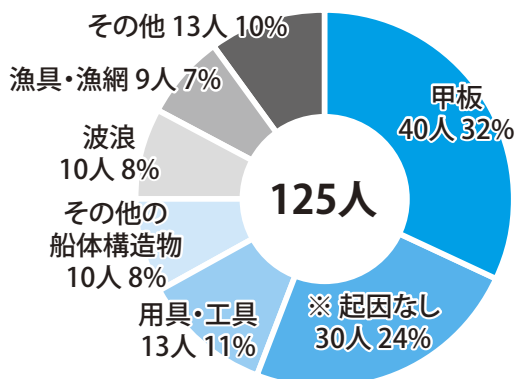
(人) 海中転落による死亡・行方不明者数（年度別・船種別）



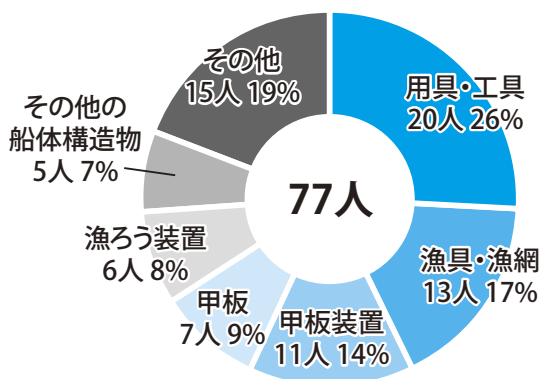
上の棒グラフは2019年度～2023年度までの、海中転落による死亡者・行方不明者数を年度別・船種別に示しています。海中転落の可能性がある業務では、作業者に作業用救命衣または墜落制止用器具を着用させ、遭難信号発信器等（PLB: Personal Locator Beacon）を携帯させることも検討しましょう。

転倒、はさまれ、動作の反動・無理な動作、転落・墜落の起因別災害発生数

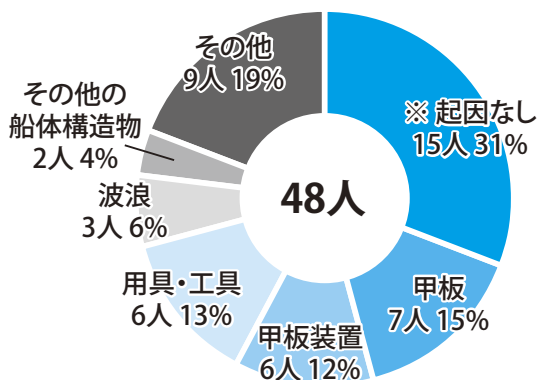
起因物別（全船種「転倒」）



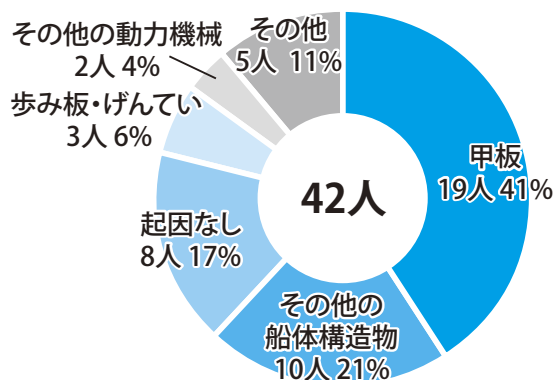
起因物別（全船種「はさまれ」）



起因物別（全船種「動作の反動・無理な動作」）



起因物別（全船種「転落・墜落」）

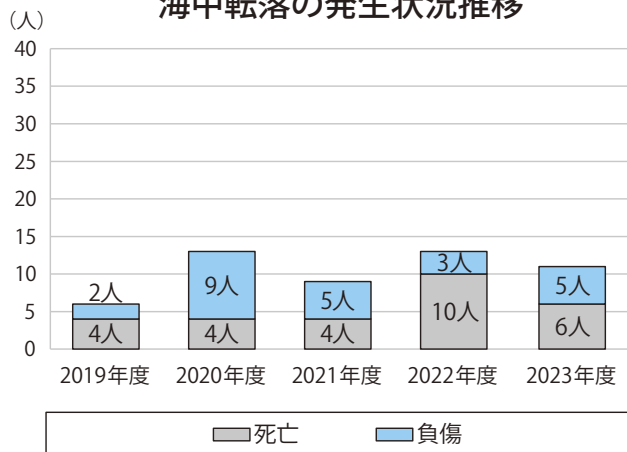


「転倒」「はさまれ」「動作の反動・無理な動作」「転落・墜落」「海中転落」による死傷災害の防止を図るため、船内設備、作業方法等について再検討することが必要です。死亡・行方不明の原因の多くが海中転落によるものであることを踏まえ、作業用救命衣等の適切な使用の徹底や、海面に木槌をセットした浮輪を設置するなど海中転落に関する対策を講じましょう。

※ 起因なし：災害の発生原因が特定できない場合を指します。

海中転落の発生状況

海中転落の発生状況推移



起因物別（全船種「海中転落」）
（2023年度）

